

第5学年 道徳学習指導案

2025年11月22日土曜日 4校時
町田市立小山小学校

指導者 1組(26名) 松下 龍馬
2組(27名) 鈴木 有紗
3組(27名) 増田 拓己
4組(26名) 増島 圭

1 ねらい 自分の特徴を知り、自身の「良さ」を伸ばそうとする態度を育てる。
「個性の伸長」(学習指導要領の内容)

2 資料名 「感動したこと、それがぼくの作品 — パブロ・ピカソ」
(出典 東京書籍「新しい道徳」第5学年)

3 展 開

	学習活動(主な発問と予想される児童の反応)	○指導上の留意点 ☆・・・評価
導入	1 「自分らしさ」について考える。 「自分らしさ」とはどんなことですか。また、あなた自身の「自分らしさ」とはどのようなものですか。	○一般論で終わらず、自分自身の「らしさ」とは何かについて考えさせる。
展開	2 「感動したこと、それがぼくの作品 — パブロ・ピカソ」を読んで話し合う。 ①ピカソは、なぜ『売れる絵を描く』のではなく、『自分が感動したものを描く』という道を選んだのでしょうか。その生き方には、どんな覚悟があったと思いますか。 C: 自分の思いをつらぬくことが大切だと考えていたから。 C: いつか自分の絵が周囲に認められるようになると信じていたから。 C: 自分にしか描けない絵を描くという思いがあったから C: お金よりも、自分の気持ちが大切だと思ったから。 ②ピカソの生き方から学んだことは何ですか。 C: 自分の力を信じて、努力を続けることの大切さ C: 自分の思いや好きを大切に生きていくことの良さ 3 今までの自分を振り返り、自分らしい生き方について考える。 ・あなたは自分の個性や良さを生かして、どんな生き方をしていきたいですか。	○自分が感動したことだけを作品に表すという信念を曲げないピカソの強さに気付かせる。 ☆自らの信念を貫いて自分の個性を伸ばしていこうとするピカソの心情について考えている学習状況を把握する。 ○「ゲルニカ」の絵にピカソが込めた思いを考えながら、ピカソの生き方を通して、自分のよさを伸ばすために大切なことについて話し合わせる。 ○児童の好きなことや得意なことを「自分らしさ」として認めてから、自身の良さを伸ばして生きていくことの良さに気付かせる。 ☆自分の良さを振り返り、さらに伸ばしていこうと考えている学習状況を把握する。
終末	4 教師の話を聞く。	○自分のよさを伸ばすことができたことについて話す。

※本時は学年の児童の実態に基づき設定されました。
授業内容やねらいとされることについて、ぜひご家庭でも話をする機会を設けていただければと思います。よろしくお願いします。